

経緯書

氏名	愛知 太郎
----	-------

1 緊急小口資金特例貸付金の使途について

家賃 60,000 円、共益費 5,000 円、駐車場代 5,000 円、電気代・ガス代 15,000 円、携帯電話代 10,000 円
食費 60,000 円、日用品費 10,000 円。

2 令和2年4月以降の世帯収入について（収入内訳は備考に記載）

	合計金額	内訳・備考
令和2年4月	350,000 円	本人：145,000 円、3月残業がなく減収、4月出勤調整 妻：105,000 円、実母：年金 100,000 円
令和2年5月	400,000 円	本人：120,000 円、3月出勤調整が影響し減収。工場休業。 妻：80,000 円、妻勤務日数減少。緊急小口特例 200,000 円
令和2年6月	265,000 円	本人：90,000 円、休業補償のみ。6/1 勤務再開、残業なし。 妻：75,000 円、勤務数減少。実母：年金 100,000 円

3 令和2年7月以降の世帯収入及び収入見込み（収入内訳は備考に記載）

	合計金額	内訳・備考
令和2年7月	485,000 円	本人：125,000 円、月末残業状態回復。妻：60,000 円、経費削減のため 7/15 で解雇。特別定額給付金(3人分)300,000 円
令和2年8月	300,000 円	本人：200,000 円、通常。 妻：収入なし。実母：年金 100,000 円
令和2年9月	260,000 円	本人：200,000 円、通常。 妻 60,000 円、新しいパートに就いている見込み。

4 負債（借金）・滞納について

	合計金額	内訳・備考
負債（借金）	200,000 円	クレジットカードリボ払い残り 100,000 円（月 20,000 円返済） キャッシングローン残り 100,000 円（月 10,000 円返済）
滞納	80,000 円	家賃 5 月分 55,000 円、共益費 5 月分 5,000 円 携帯代 5 月分 20,000 円

5 収入の回復のための行動計画、目標について

製造業であるアンジョウ社協工場で検品の業務についている。新型コロナウイルスの影響で5月末まで休業となっていたが、6月1日から業務再開し、7月頃から残業を含む勤務時間も通常にもどり、9月には通常に戻る見込み。

妻は人員整理のため6月上旬、7月の締日である7月15日での解雇が決まっていたが、新型コロナウイルスの影響を弱まれば新しいパート先を探せるため9月には給料が入るようになっている見込み。

経緯書

6 新型コロナウイルスの影響で減収した経緯

(※新型コロナウイルスの影響で減収していることが確認できる書類がない場合のみご記入ください。)

(1) 仕事の内容などについて

自動車関連部品の製造を行うアンジョウ社協工場で検品の業務についている。通常であれば毎日2時間残業が毎日あり、常に月残業が40時間程度あるのが通常。

(2) 現在の状況について

自動車部品の製造が止まっており5月末まで休業。6月1日から業務再開の連絡が来ているがすぐに残業状態まで回復するとは考えられない。

(3) 減収した主な要因

新型コロナウイルスの影響を受け親会社の生産量が減産。それに伴い勤務先への発注も減少しゴールデンウィークから休業状態となった。生産量減少に伴い残業が減り、勤務日数が減り、休業となり休業補償のみしか収入がなくなったことで大きく減収。妻も影響を受け勤務時間が減り、解雇となる予定。

(4) 新型コロナウイルス感染症の影響を受けたあとの収入状況について

・令和2年1月～令和2年2月の状況

・影響なし。

・令和2年3月～令和2年4月の状況

・残業が無くなり大きく減収。

・令和2年5月～令和2年6月の状況

・5月には工場停止に伴い休業。社協で緊急小口特例資金に申請し200,000円借入れ。

・6月から業務再開したが残業はない見通し。

・妻の勤務時間も減少、6月に入り来月締日での解雇が決まっている。

・令和2年7月以降の状況、今後の状況予測

生産が戻り、併せて、出勤も通常とおりになる見込みだが妻の新しいパートが見つかるまで世帯として減収が続く見込み。